

2020年6月28日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第63巻第12号(通算3189号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師
担任教師・水谷 憲 牧師
隠退教師・小林 達夫 牧師

しゅうほう 週報

教会標語

かみさま つか
神様が創られたすべての命を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい 聖霊降臨節 第5主日礼拝

ししき
司式
そうがく
奏楽

さん
さん

- ぜん そ う もくとう
前 奏 黙 禱
- まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 84編 6-7節
- きん び か しんせいさんびか ばん ばん めぐ にほん れんめい
賛美歌 新生讚美歌563番「すべての恵みの」(©日本バプテスト連盟)
- せい しょ ふくいんしよ しやう せつ
聖 書 ヨハネによる福音書 4章 5-26節
- いの せつ
お 祈り 司式者
- きん ばん おもに お もの ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-432番「重荷を負う者」(©著作権消滅)
- あ かみさま おく もの
メッセージ 「出会いが神様からの贈り物」
うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師
- しんせいさんびか ばん きょうかい しゅ ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 新生讚美歌363番「キリスト 教会の主よ」(©著作権消滅)
- しゅ いの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)
- たんじやうしやくふくしき
誕生者祝福式(*)
うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師
- けん きん ばん いま
献 金 (***) 21-65-1番「今そなえる」
- は け ばん かみ めぐ う
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(©JASRAC)
- しゅく ふく ばん
祝 福 牛田 匡 牧師
- こう そう ばん
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)
- ほう こ ページ さんしやう
報 告 (4頁をご参照ください)

《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りになっ
たままで礼拝にご参加ください》

《礼拝中、インターネットで中継配信を行っています》

* みんなで4・5・6月生まれの方を祝福します。ご遠慮なさらず、

どなたでもお申し出ください。

** 「献金」は参加費ではございません。受付に献金箱がございます。

ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 84編 6-7節

⁶ 幸いな者、あなたを力とし／心の中に大路おおじを敷く人は。

^{7a} 嘆きの谷を通る者たちはそこを泉に変えます／秋の雨がそこをまた祝福で覆います。
(脚注 a：別訳「バカの谷」)

聖書 ヨハネによる福音書 4章 5-26節

⁵ それで、イエスはヤコブがその子ヨセフに与えた土地の近くにある、シカルというサマリアの町に来られた。⁶ そこにはヤコブの^り井戸いどがあった。イエスは旅に疲れて、そのまま井戸のそばに座っておられた。正午ごろのことである。

⁷ サマリアの女が水を汲みに来た。イエスは、「水を飲ませてください」と言われた。⁸ 弟子たちは食べ物を買うために町に行っていた。⁹ すると、サマリアの女は、「ユダヤ人のあなたがサマリアの女の私に、どうして水を飲ませてほしいと頼むのですか」と言った。ユダヤ人はサマリア人とは交際してたまものいなかったからである。¹⁰ イエスは答えて言われた。「もしあなたが、神の賜物を知っており、また、『水をください』と言ったのが誰であるかを知っていたならば、あなたのほうから願い出て、その人から生ける水いづみをもらったことであろう。」¹¹ 女は言った。「主よ、あなたは汲む物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生ける水を手にお入れになるのですか。¹² あなたは、私たちの父ヤコブよりも偉いのですか。ヤコブがこの井戸を私たちに与え、彼自身も、その子どもや家畜も、この井戸から飲んだのです。」¹³ イエスは答えて言われた。「この水を飲む者は誰でもまた渴く。¹⁴ しかし、私が与える水を飲む者は決して渴かない。私が与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水が湧き出る。」¹⁵ 女は言った。「主よ、渴くことがないように、また、ここに汲みに来なくてもいいように、その水をください。」
(脚注 b：直訳「泉」)

¹⁶ イエスが、「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言われると、¹⁷ 女は答えて、「私には夫はいません」と言った。イエスは言われた。「『夫はいません』というの、もっともだ。¹⁸ あなたには五人の夫がいたが、今連れ添っているのは夫ではない。あなたの言ったことは本当だ。」¹⁹ 女は言った。「主よ、あなたは預言者だとお見受けします。²⁰ 私どもの先祖はこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムにあると言っています。」²¹ イエスは言われた。「女よ、私を信じなさい。あなたがたが、この山でもエルサレムでもない所で、父を礼拝する時が来る。²² あなたがたは知らないものを礼拝しているが、私たちは知っているものを礼拝している。救いはユダヤ人から来るからだ。²³ しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真実をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。²⁴ 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真実をもって礼拝しなければならない。」²⁵ 女は言った。「私は、キリストと呼ばれるメシアが来られることを知っています。その方が来られるとき、私たちに一切のことを知らせてくださいます。」²⁶ イエスは言われた。「あなたと話をしているこの私が、それである。」

《先週のメッセージより》6月21日 聖霊降臨節 第4主日礼拝

メッセージ「もうひとつの幻」より

水谷 憲 牧師

聖書：ハバクク書 2章 1-4節

ハバククは、この書物の初めに「主よ、私が助けを求めて叫んでいるのに、いつまであなたは聞いて下さらないのか。私が、あなたに『不法』と訴えているのに、あなたは助けて下さらない」と訴える。当時北イスラエル王国は既に滅び、南ユダ王国もアッシリアに苦しめられていたが、神はさらにカルデア人（バビロニア帝国）という新たな敵を南ユダに対して送るというのだ。そのやばさは1章6節以降を参照。なぜ神はこんな状況を放っておられるのか。なぜ私たちがこんなひどい目に遭い、悪人が笑っていられるのか。こんなにひどい現実が、悪い夢であってくれたら……。それは今まさにアメリカを中心に起こっている人種差別や警察による暴力に対する抗議デモに連なる人々の思いでもあるだろう。昨日はアメリカ「奴隷解放記念日」。1600年頃に初めてアメリカに連れてこられたアフリカ人に始まり、1865年に形式的ながらも奴隷制度が終わり、今に至るまで、一体どれほどの人々がこの問いを抱えてきたことか。

神はハバククに答えて言われる。「この幻を書き記せ。一目で分かるように、板の上にはっきりと記せ。この幻は、なお、定めのため、終わりの時について告げるもので、人を欺くことはない。たとえ、遅くなっても待ち望め。それは必ず来る、遅れることはない」。神はハバククに幻を与え、それをはっきりと書き記せと言う。その幻とは、終わりの時について告げるもの、すなわち現在の苦難からの解放の時を約束するもの。だからその時を待ちなさい。必ず来るから。その約束はホンマやと。

私たちにとって大事なものは、理解できない現実には惑いながらも、そこに神の計画や意味を見出して行こうとすることなのではないか。神の御心に対して迷いが起きたり、神に恨み言を投げつけることなど大したことではない。信仰とはそういう迷いや葛藤の中で、こんな世界であっても神の支配の内にあるのだと、信じつつ生きていくことなのかもしれない。神は最終的にすべての悪を必ず裁かれることを約束しているのだ。「それは必ず来る、遅れることはない」と。だから信じよう。

ただ注意すべきは、「待ち望め」とは、「ひたすら文句言わずに我慢せよ」という通り一辺倒の意味ではないということ。私たちがこのハバククのように、あるいは新約聖書において、キリストに救われた多くの人々のように、具体的に助けを求める声を上げ、勇気をもって外へ出て行くという形で救いを「待ち望む」ことこそが、こちらへ向かうキリストの足を速め、神の救いの到来を早めることになる、ということを知りたい。目の前の辛い現実には夢や幻であってほしいと誰でも思ってしまうが、私たちは神の与えられるもう一つの幻を信頼しつつ、私たちの生活の中で、具体的な形で信仰を表しながら、決して諦めることなく「約束の時」を待ち望んでいきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (6月21日)

礼拝出席 大人 8名 献金 11,000円 感謝 聖書を読む会 参加者 7名

◎次週 2020年7月5日(日) 聖霊降臨節第6主日礼拝

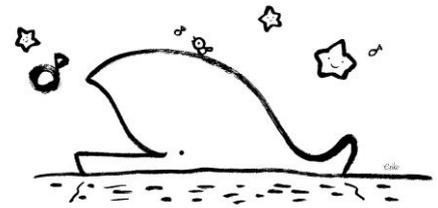
招きの詞 ヨハネによる福音書 4章 35-36節

聖書 ヨナ書 3章 10節-4章 11節

メッセージ「その怒りは正しいですか」牛田匡牧師

賛美歌 21-425番 21-566番 21-524番

奏楽 さん



礼拝をインターネットで中継配信いたします。中継はホームページにて 10時半頃よりご視聴いただけます。

礼拝の中で、ユーカリストが行われます。また礼拝後には、7月期の「教会の活動を考える会(役員会)」が行われます。役員ではない方も陪席自由ですので、教会についてご一緒に考えてくださる方はどうぞご出席ください。

◎ お知らせ

- ・本日礼拝後のお茶の時間の後に、釜ヶ崎・いこい食堂支援のための「おにぎり作り」を行います。毎月第4日曜日には、柏原市の特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」で行って来ていますが、3月より新型コロナウイルスへの対応として「大阪好意の庭」へは、外来者の出入りが制限されていますので、先月に引き続き今月も教会にて行います。
- ・教会堂に皆が集まる形での礼拝を再開していますが、今後も継続してウイルス対策が必要です。そのために、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあげた着席をお願いいたします。また咳・発熱・味覚異常・倦怠感・風邪症状のある方や、新型コロナウイルス感染者と接触された方は、ご自宅でお休み頂き、お祈りをもってお過ごしください。なおご入り用の方には教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、ご遠慮なさらず、どうぞお持ち帰りください。今後も皆で集まる形の礼拝の休止など、状況が変わり次第、ウェブサイト、Facebook、LINE 公式アカウント等を通してお知らせいたします。
- ・昨日 27日(土)に予定されていたまぶねっこクラブの大浦農園での「縁農」(釜ヶ崎・いこい食堂支援)ジャガイモの収穫作業は、移動の車中での「3密(密閉・密接・密集)」が防げないために中止となりました。7月以降の「縁農」の予定については、今後新型コロナウイルスの感染状況を確認しながら検討していく予定です。
- ・2月に報告会を行った会津放射能情報センターより、「第3回『子ども脱被ばく裁判』への公正な審議と判決を求める署名」が届いています。提訴後5年以上が経過し、今回の署名提出が最終回となります。ご賛同いただける方はご署名ください。7/20〆切です。署名用紙がご入り用の方は教会ホームページ、及びこちらの URL よりダウンロードしてください (<https://onl.tw/W1mvPFX>)

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	司式	奏楽	メッセージ	行事
7/5	久宝寺地区			牛田牧師	ユーカリスト・教会の活動を考える会
7/12	久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)			牛田牧師	部落解放祈りの日・聖書を読む会
7/19				水谷牧師	
7/26	大阪好意の庭?			牛田牧師	おにぎり支援